

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートおおつか		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 20日		令和6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 20日		令和6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち同士の関わりを大切にしています。遊びではルールを子どもたちで話し合っ遊んだり、日常生活では積極的にお手伝いをさせていただき、職員はサポートに回り、子供たち同士で助け合っ共存することを目標としています。	常に子どもたちに何かお手伝いを出来ることはないかを考えたり、皆と一緒に出来ることを考えます。その上で、安全性にも配慮しています。	子どもたちの成長に合わせての適切な課題を考えるために、定期的に療育のミニカンファレンスを行っています。
2	環境面では、バリアフリーで段差がない所、加湿器設置、空気清浄機2台設置しており、手洗いうがいも徹底して衛生面にも配慮し、安全で安心して過ごして頂けるよう、体に優しい環境作りを目指して健康面からもサポートしています。	風邪の流行であったり、子どもたちの状態を見ながら、予防の意味でのマスクの着用やアルコール消毒を促したり、状況を見て、朝の申し送りの際に注意喚起を行っています。	突発的に起こる事象に対して、迅速に対応できるように、各職員に消火器の使用方法、AEDの使用方法など、講習に参加を促していきたいと考えています。
3	イベントに力を入れており、特に祝日には、2段構えのレクリエーション(クッキングレク→外出レク)を行い、お弁当がいらないので助かる。いろいろ連れて行ってもらえて助かるとお声を頂いております。	衛生面・安全面に考慮しながら飽きない工夫をしつつ、レクを行っています。	夏休みなどは毎日レクがありますので、利用児童により内容を変えたり、常に職員間で情報収集・情報交換をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当日キャンセル・キャンセルの件数が多く、ここ半年間の月平均のキャンセル件数が21.4人に上ること。定員でお断りした後にキャンセルになるケースもあり、利用人数の見通しが立てづらいこと。	お子さまのスケジュールの把握、アナウンスの方法	通院やリハビリ等の、事前に日程が把握できそうなキャンセルは、利用希望日を聞く前に一度アナウンスしておく。当日キャンセルに関しては、衛生面に配慮し、換気、室温に気を付ける。
2	人員の配置や送迎・配車の都合で新規のお子さまの受け入れが難しくなっていること。	各職員のスキルの違い、シフトの調整、ドライバーの育成	各職員の育成を重点に置き、欠員が出た際も他職員が同じポジションを交代することにより、普段通りのサービスを提供できることを目指しています。
3			